

グリーン購入ネットワーク（GPN） 2022年度事業計画書

活動方針

持続可能な調達（消費と生産）の推進を通じて、カーボンゼロ、SDGs、サーキュラーエコノミーの実現に貢献します。



私たちは、地球と地球上の生物が生み出す恵みを享受しながら、ビジネスや豊かな暮らしを送る一方で、気候変動問題や廃プラスチックごみによる海洋汚染、生物への影響等の課題に直面しています。日本は2050年までにカーボンゼロ（温室効果ガスの排出ゼロ）を目指すことを宣言し、今後の気候変動対策の加速が期待されます。また、サプライチェーン上には、貧困や違法な操業等の社会問題も存在し、環境問題のみならず社会問題の改善にも配慮することが求められています。

SDGsという世界的な目標がある中でこれらの課題解決に取り組む際、持続可能な調達やグリーン購入は有効な手段であります。カーボンゼロの達成のためには、生産段階や製品使用時の省エネだけではなく、購入という手段を用い、省エネ機器の導入や再生可能エネルギーによる電力（再生電力）への切り替え、廃棄物の発生が少なく済む生活様式や新たな技術の普及が不可欠と言えます。

様々なビジネスや生活において、新型コロナウイルス感染症による深刻な影響が続く中、SDGsや温室効果ガスの排出ゼロ等の目標達成に近づくためには、会員団体や多くのステークホルダーが、自らの強みを活かしながら参画・協働していくことが大切です。

グリーン購入ネットワーク（GPN）は、持続可能な調達やグリーン購入の実践を通じて持続可能な社会の構築を目指す企業・行政・NPO・研究者等の幅広いネットワークです。持続可能な社会をつくるために、会員団体や地域ネットワーク、多くのステークホルダーとのパートナーシップを実践しています。

GPNは2022年度も、「知る・学ぶ機会」、「実践・PRの機会」、「環境と社会に配慮した製品・サービスの情報を得る機会」、「社会等への情報発信・提言」という4つの観点から、研修会やダイアログ、表彰、GPNコラムや製品情報の提供等の事業を実施します。これらの事業の実践を通じ、持続可能な調達やグリーン購入に取り組む調達者（企業・地方自治体・個人等）を増やすとともに、環境や社会に配慮した製品やサービスを提供する事業者の取り組みを支援します。

1. 知る・学ぶ機会

(1) 成功事例から学ぶ SDGs 研修会

SDGs に取り組むためには、自社の取り組みを SDGs の目標やターゲットに照らして整理するだけではなく、アウトサイドインの視点から捉える必要があります。また、社内浸透や目標設定、SDGs の視点から新たなビジネスを創出する等、プロセスの進め方等も課題の一つと言えます。

2022 年度も、SDGs に先進的に取り組む多様な企業・団体を講師に、SDGs を社内に浸透させるための事例やポイント、成果を生み出すための how to を学ぶ SDGs 研修会を実施します。SDGs 研修会を通じて、参加者が自社の強み・弱みを捉え、本業の強化につながる SDGs の取り組み方を掴む機会とします。

(2) セミナー

2021 年度は、プラスチック資源循環やカーボンプライシング、再エネ電力やグリーン購入の共同調達、持続可能な調達をテーマにセミナーを実施しました。

2022 年度も、用紙のグリーン購入、持続可能な調達、Scope 3、再エネ電力の調達、生物多様性、サーキュラーエコノミー等、旬なテーマに関するセミナーを開催します。これらのセミナー開催を通じて会員団体が最新動向を学ぶ機会を増やすとともに、GPN が直接アプローチできない企業・団体へ、GPN の活動を届けられる範囲を広げられるよう、外部団体との連携を推進します。

(3) 地方自治体向けグリーン購入・環境配慮契約研修会

温室効果ガスの排出ゼロを達成するためには、省エネ機器の導入や再エネ電力への切り替え等、グリーン購入や環境配慮契約の実践が必要となります。

GPN は、地域ネットワークや都道府県等と連携しながら、グリーン購入及び環境配慮契約（電力）に関する研修会をオンラインで実施し、基礎と実践方法を学ぶ研修会を実施します。その他、個別相談会やカーボンゼロのための電力契約の方針策定支援、職員研修等により、個別団体の支援も行います。

(4) GPN News、GPN コラム

GPN は、年 4 回の GPN News を通じて、プラスチック資源循環や気候変動問題、カーボンプライシングや ESG 情報の重要性等、グリーン購入や持続可能な調達の推進につながる情報を発信しています。また、GPN コラムでも、生物多様性保全の国際動向や EU タクソノミー、サステナビリティ会計等、旬の話題や最新動向を解説しました。

2022 年度も、GPN News の発行に加え、GPN コラムを通じて、サステナビリティのトレンドやサーキュラーエコノミーの国内外の動向、金融業界における脱炭素の動きや ESG 評価等、社会的な課題・テーマに関する考え方や最新動向をお届けします。

2. 実践・PR の機会

(1) 再エネ電力の普及促進

2050 年までに温室効果ガス排出ゼロを達成するためには、再エネ電力のさらなる利用拡大が必要不可欠です。GPN は、2019 年度に「再エネ 100 宣言 RE Action」を IGES、J-CLP、ICLEI と共同で立ち上げ、再エネ電力へのニーズを可視化するとともに、積極的に取り組む優良事例の共有等に取り組んで参りました。

2022 年度も再エネ 100 宣言 RE Action 事務局業務を担い、再エネ電力 100%を目指す団体を増やす

とともに、再エネ電力の普及を行います。再エネ電力や PPA 導入に関心のある需要家とのマッチングやサプライチェーン上の上流サプライヤーを対象とした再エネ導入に関する取り組みも検討を行います。

(2) グリーン購入大賞

グリーン購入大賞は、脱炭素社会の実現、SDGs の目標達成に向けて、持続可能な調達（消費と生産）を通じた取り組みを評価・表彰しています。また、これまで再エネ普及特別部門やプラスチック資源循環特別部門を設け、社会の関心の高いテーマに関する優良事例を表彰してきました。

2022 年度は、第 23 回グリーン購入大賞を実施します。再生可能エネルギーの普及促進やプラスチック資源循環、サプライチェーンエンゲージメントなど、社会課題の解決に寄与する先進的取組事例の表彰を通じて、持続可能な調達の実践例の普及を目指します。

(3) 持続可能な調達アクションプログラム

持続可能な調達アクションプログラムは、サプライチェーン上のビジネスの中で、企業として求められる環境面、社会面の取り組みを自己評価し、取り組みを改善するツールです。回答した会員団体には、取り組みの改善につなげるためのフィードバックレポートを発行しています。

2022 年度は、「持続可能な調達アクションプログラム」の評価チェックリストを活用し、SDGs 研修会や外部講演等を通じて周知を図ると共に、自社のサプライヤーの取り組みを把握し、改善しようとする企業と連携し、サプライヤーの取り組み調査を実施するとともに、対策を講じるための取り組みを支援します。

(4) SDGs 評価システム（仮）の検討

SDGs に取り組む中で、優先課題や目標、指標の設定等は企業・団体によって様々ですが、SDGs が目指す社会や克服しようとする課題をふまえて取り組み、自社の活動につなげることが大切です。

2022 年度は、SDGs 研修会の実施に加え、外部団体の取り組みを整理するとともに有識者へのヒアリング等を行い、SDGs の取り組みを評価する枠組みについて検討を行います。

(5) グリーン購入取り組み支援プラン

GPN はオンライン研修により、基礎的な知識や優良事例の取り組みのポイント等、グリーン購入や環境配慮契約の周知に取り組むとともに、個別団体の課題や要望に応えるために、グリーン購入取り組み支援プラン（方針策定・見直し、講師派遣）を運用しています。2021 年度は個別相談会を実施するとともに、2 団体のグリーン購入調達方針の見直しや環境配慮契約方針の新規策定の支援を行いました。

2022 年度も、個別相談会やカーボンゼロのための電力契約の方針策定支援、職員研修（講師派遣）等により、個別に地方自治体の支援を行います。

3. 環境と社会に配慮した製品・サービスの情報を得る機会

(1) グリーン購入ガイドラインの策定・改定

グリーン購入ガイドラインは、環境と社会に配慮した製品・サービスを選択する際に考慮すべき事項をまとめたもので、21 分野でグリーン購入ガイドラインを策定しています。2021 年度に改定した輸配送（貨物自動車）契約ガイドラインでは、東京都貨物輸送評価制度および J-クレジットの創出を燃費向上の取り組みとして位置付ける等、物流業界における環境配慮の動向やグリーン購入法の改定内容を

反映し、最新化しました。

2022年度は、社会動向やグリーン購入法の改定等の動きもふまえ、印刷・情報用紙やトイレットペーパー・ティッシュペーパー、文具・事務用品等、購入ガイドラインの改定を行います。

(2) 環境配慮型製品・サービスの情報提供の充実

GPNは「エコ商品ねっと」を通じて製品やサービスの環境情報を提供しています。「エコ商品ねっと」は、グリーン購入ガイドラインに沿った詳細な環境情報の他、グリーン購入法やエコマーク等の環境ラベルに関する情報を掲載し、地方自治体や国等の機関等、グリーン購入に取り組む組織や購入者に広く活用されています。

2022年度は、掲載情報の最新化と掲載商品のさらなる充実に取り組むとともに、「エコ商品ねっと」掲載情報をより多くの方に届けるための新たな情報発信の手法の検討を行います。

(3) サステナブル商品・サービス情報の提供

グリーン購入ガイドラインやグリーン購入法、エコマーク等に沿った商品・サービスの情報提供に加え、気候変動対策やプラスチック資源循環につながる製品・サービス、社会動向に対応した新たなサービス等、サステナブルな商品・サービスの情報提供のあり方を検討し、試行します。

4. 社会等への情報発信・提言

(1) 政策提言

GPNはこれまで、グリーン購入法や環境配慮契約法の強化を求める要望書の提出や、環境基本計画やプラスチック資源循環戦略等への意見提出等を通じて、グリーン購入や持続可能な調達に取り組みやすくなるような仕組みづくりを求めてきました。

2022年度もグリーン購入法や環境配慮契約法等への提案に加え、持続可能な調達が促進される社会制度の構築につなげるための提言活動を継続します。

(2) グリーン購入ランキング

グリーン購入や環境配慮契約の取り組みは、SDGsでも「国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する。(12.7)」や「2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。(7.2)」に位置付けられます。GPNは、地方自治体のグリーン購入の取り組みを促進するために、2016年度から「地方自治体のグリーン購入取り組みランキング」を公表し、2021年度は、環境配慮契約（電力の供給契約）の取り組みを評価に加え、地方自治体のランキングを公表しました。

2022年度は、7回目となるランキングを公表するとともに、気候変動や資源循環等の課題に対する地方自治体のグリーン購入の取り組みを評価し、底上げを図る手法を継続的に検討します。

(3) 講演・外部委員会活動

GPNは、持続可能な調達やSDGs、再エネ電力等に関する講演活動や外部委員会等への参画を通じ、企業・地方自治体・団体等へグリーン購入や持続可能な調達の普及に取り組んで参りました。

2022年度もこれらの取り組みを継続し、認知度向上や推進に取り組んで参ります。

2022 年度事業計画の一覧

NO	切り口	事業名	概要
1	知る・学ぶ 機会	SDGs 研修会	「事例から学ぶ」のコンセプトを継続し、複数回のプログラムとして開催
2		セミナー	主催セミナー、外部団体との連携 (用紙のグリーン購入、持続可能な調達、SCOPE 3、再エネ電力調達、生物多様性、サーキュラーエコノミー等)
3		グリーン購入・環境配慮契約研修会	グリーン購入法改定内容の解説、研修会 (グリーン購入、環境配慮契約) 他
4		GPN News、GPN コラム	GPN News 4 回、GPN コラム 25 件
5	実践・PR の機会	再エネ電力の普及促進	再エネ 100 宣言 RE Action 事務局運営、再エネセミナー等
6		グリーン購入大賞	第 23 回グリーン購入大賞
7		持続可能な調達アクションプログラム	持続可能な調達アクションプログラムを活用したサプライヤー調査の受託
8		SDGs 評価システム (仮) の検討	SDGs の取り組みを評価する枠組みの検討
9		グリーン購入取り組み支援プラン	研修会等で案内し、希望団体について対応
10	情報を得る 機会	グリーン購入ガイドラインの策定・改定	印刷・情報用紙、衛生用紙、文具・事務用品
11		環境配慮型製品・サービスの情報提供の充実	「エコ商品ねっと」を通じた情報提供の充実、運営
12		サステナブル商品・サービス情報の提供	社会動向、新しいサービス、地球温暖化対策につながる商品・サービスの情報提供方法の検討
13	社会等への 情報発信・	政策提言	グリーン購入・環境配慮契約等の取り組みを促進するための提言、国等の機関のグリーン購入実績等の情報発信
14	提言	グリーン購入ランキング	7 回目
15		講演・外部委員会活動	